

緩効性肥料におけるプラスチック被膜殻の流出防止等に関する電話アンケート

プラスチック被覆肥料(コーティング肥料、水稻用一発肥料)におけるプラスチック被膜殻の流出の取組状況についてお聞きします。

＜Q1＞貴 JA において水稻を生産している組合員に、被覆肥料(硫黄コーティング肥料等を除く)にプラスチックが含まれていること、被膜殻が流れ出ると海洋プラスチックゴミになることを周知していますか？

1. 周知している(→Q2 へ)
2. 周知していない(→Q3 へ)

＜Q2＞「周知している」と回答した JA にお聞きします。

周知方法について、以下の中から、当てはまるものすべてに「○」をお付け下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい。(回答後 Q4 へ)

1. パンフレットやチラシを水稻組合員に配布している
 2. 各支店などにポスターや、パンフレット・チラシ等を設置している。
 3. 水稻生産部会で営農指導員などが説明している。
 4. SNS(LINE 等)で水稻組合員に周知している。
 5. JA の広報誌や水稻の栽培暦に掲載することで周知している。
 6. 動画(YouTube 等)を紹介している。
 7. JA 全農、自治体や地方農政局のホームページを紹介している。
 8. その他
- ()

＜Q3＞「周知していない」と回答した JA にお聞きします。

周知していない理由を、以下の中から、当てはまるものすべてに「○」をお付け下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい(回答後 Q4 へ)

1. 職員の人手不足のため
 2. 配布する資料(チラシ・パンフレット等)が無いため
 3. 水稻生産が盛んな地域でないため
 4. プラスチック被覆肥料(コーティング肥料、水稻用一発肥料)を利用している水稻生産者(組合員)が少ないため
 5. その他
- ()

＜Q4＞ほ場から流出する被膜殻の 9 割は代かき時期に発生しています。このような中、貴 JA(または貴 JA の周辺地域)では、代かき時期に水稻農家は流出防止対策を実施していますか？

1. 流出防止対策を実施している(→Q5 へ)
2. 流出防止対策を実施していない(→Q7 へ)

＜Q5＞「流出防止対策を実施している」と回答した JA にお聞きます。

現在、貴 JA(または貴 JA の周辺地域)において、水稻農家が代かき時期に実践している流出防止対策について、以下の中から、当てはまるものすべてに「○」をお付け下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい(回答後 Q6 へ)

1. 代かき時に、田んぼの土や濁った水が流れるのを防ぐために、「止水板」を設置している
2. 田植え前は、強制落水を行わず、「自然落水」により水位を調整している
3. 被膜殻が浮上しないよう「浅水代かき」を行うようにしている
4. 被膜殻流出防止のため、排水口に「捕集ネット」を使用し、被膜殻が水路に出ないようにしている
5. 水尻作業や藁あげタイミング等で、浮遊した被膜殻を見つけた際は、直ぐにすくい取るなど除去している
6. 実施はしていると思うが、具体的な対策はよく分からない。
7. その他
()

＜Q6＞現在、実施している流出防止対策の課題・問題点について、お教え下さい(回答後 Q8 へ)

例:「浅水代かき」は、農機に負担をかける可能性や作業速度が低下することが課題

「自然落水」は、栽培スケジュールに合わせることが課題、「捕集ネット」は、コストや手間がかかることが課題

＜Q7＞「流出防止対策を実施していない」と回答した JA にお聞きます。

現在、貴 JA(または貴 JA の周辺地域)において、水稻農家が流出防止対策を実施していない理由について、以下の中から、考えられるものすべてに「○」をお付け下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい(回答後 Q8 へ)

1. 効果がある流出防止対策が分からないため
2. 職員の人手不足から、指導すべき流出防止対策が決まっていないため
3. プラスチック被覆肥料(コーティング肥料、水稻用一発肥料)を利用している水稻生産者(組合員)が少ないため
4. 流出防止対策を実施すると経費が増加するため
5. 流出防止対策が必要であるという意識が醸成されていないため
6. その他
()

＜Q8＞プラスチック被覆肥料の代替技術として以下のようなものがあります。現在、貴 JA（または貴 JA の周辺地域）で実施している代替技術について、当てはまるものすべてに「○」を付け、実施している技術には、利用する上での課題・問題点をお教え下さい。実施していない技術には、実施していない理由をお教え下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい。

代替技術	実施している上での課題・問題点	実施していない理由
1. 減プラ肥料(Jコート)の活用	()	()
2. プラスチックを使用しない緩効性肥料(硫黄コーティング肥料、ウレアホルム肥料)の活用	()	()
3. 流し込み肥料の活用	()	()
4. ドローンによる追肥	()	()
5. ペースト2段施肥技術	()	()
6. その他 ()	()	()

＜Q9＞プラスチック被覆肥料の代替技術として、今後実施したい(今後も実施していきたい)代替技術に、当てはまるものすべてに「○」を付け、その理由をお教え下さい。その他の場合は、内容をお教え下さい。

今後実施したい(今後も実施したい)代替技術	その理由
1. 減プラ肥料(Jコート)の活用	()
2. プラスチックを使用しない緩効性肥料(硫黄コーティング肥料、ウレアホルム肥料)の活用	()
3. 流し込み肥料の活用	()
4. ドローンによる追肥	()
5. ペースト2段施肥技術	()
6. その他 ()	()

--

JA 名			
所在地	〒 ー		
直近の水稻 作付面積	貴 JA における 直近の水稻作付面積 をお教え下さい(概数(大まかな数値)でかまいません) 約()ha		
部署名			
TEL			
ご回答者 お名前		ご回答者 お役職名	

★お忙しいところ長時間のご協力、誠に有り難うございました。